

漢方薬を試してみませんか

## アンチエイジング

アンチエイジングという言葉は、加齢と敵対している感じがします。重ねる年齢とうまく付き合うようなアンチエイジングとしたいものです。

そのような時にも漢方は味方になってくれます。目指すのは、寿命を延ばすのではなく、与えられた命を十分に発揮させること。もちろん漢方薬を飲めばよいわけではなく、生活習慣を見直し、養生を重ねることも必要です。

抗老化薬として有名なのは「八味地黄丸」。生命エネルギーを蓄えている腎を元気づけ、下半身の衰えをカバーします。

消化機能を整える「六君子湯」、気力を充実させてくれる「補中益気湯」、貧血気味に「十全大補湯」、皮膚のカサカサに「当帰飲子」。さらに「牛車腎気丸」「桂枝加朮附湯」「猪苓湯」「麻子仁丸」などなど、体調や体質に応じて様々な処方があります。

漢方で、加齢とよい関係。

### 外科の外来予定は 下記の○印の部分です。

| 診療時間                      | 月 | 火 | 水            | 木 | 金 |
|---------------------------|---|---|--------------|---|---|
| 午前<br>9:00<br>~<br>12:00  | ○ | ○ | <del>X</del> | ○ |   |
| 午後<br>14:00<br>~<br>17:00 |   | ○ |              |   |   |

外来予約  
専用 ☎

**092-662-3579**

電話受付時間（平日） 8:30~17:00

外科部長 **品川 裕治**



福岡みらい病院

## 外科便り



2017.6.15  
Vol.2 No.3

### 【主な内容】

- 粉瘤の治療
- **加齢に漢方**

医療法人相生会

**福岡みらい病院**

〒813-0017

福岡市東区香椎照葉3丁目5-1

☎ 092-662-3001（代）

## 粉瘤（アテローム）の治療

下の写真のようなぐりぐりが、体のどこかにありませんか。それは粉瘤（アテローム）かもしれません。

粉瘤は良性の皮下腫瘍で、体中のどこの皮膚にもできる可能性があります。

原因ははっきりしませんが、皮膚の下に袋ができ、その中に垢や皮脂がたまっています。

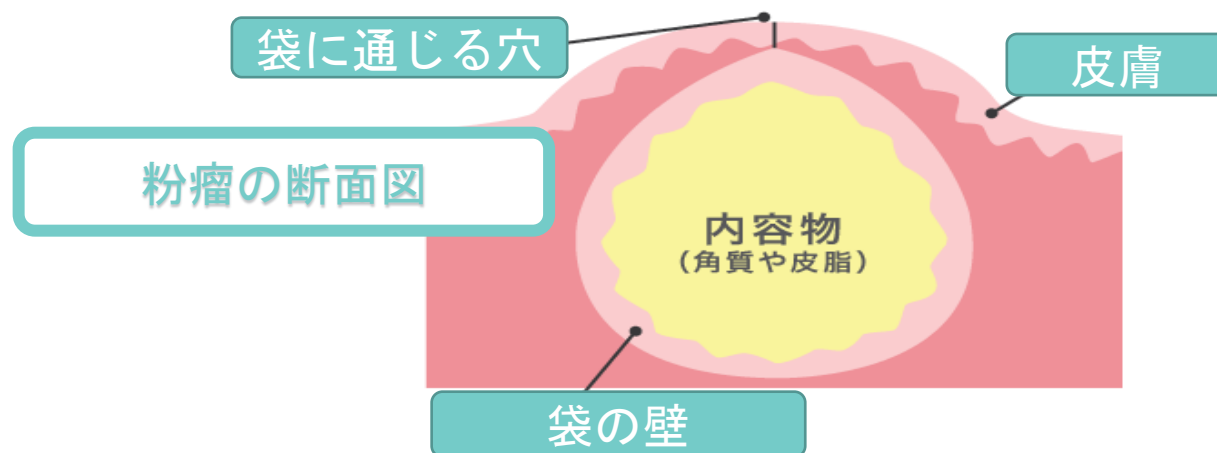
押すと中から悪臭を放つどろっとした内容物が出てくることがあります。

感染を起こすと急に赤く腫れてきて痛み、膿が出てくることがあります。

○ 粉瘤が自然に治ることは稀です。

○ 治療するには袋ごと摘出する必要があります。

○ 摘出するならば、感染を起こさないうちに行うのがお勧めです。



### 手術は

- 摘出は手術室で。
- 麻酔は局所麻酔。
- 手術時間はしこりの大きさにより異なりますが、10～30分程度。
- もちろん日帰り。